

# 平成 27 年度 第 6 回 牧之原市自治基本条例推進会議

## 次 第

日時：平成 27 年 12 月 8 日（火）

午後 6 時 00 分から午後 8 時 00 分

会場：牧之原市役所 榛原庁舎 4 階会議室 1・2

1 開 会

2 会長挨拶

3 市長挨拶

4 議 題

(1) 第 5 回対話の場の進め方について

(2) これまでの経緯と今後のスケジュールについて

(3) 公共施設マネジメント基本計画骨子案と基本理念第 1 次案について

5 副会長挨拶

6 連絡事項

7 閉 会

### 【配布資料】

- 資料 1：対話の場の経過と第 5 回目の進め方
- 資料 2：これまでの経緯と今後のスケジュール
- 資料 3：公共施設マネジメント基本計画の骨子案
- 資料 4：公共施設マネジメント基本計画 大切に作る視点 案
- 資料 5：対話の場で出た大事にする視点に係る意見



絆と元気が育む

幸せあられみんなが築く

NEXTまきのほら

## 対話の場の経過と第 5 回目の進め方

(政策協働部地域創生課)

## 1 各回で話し合った内容

回次	日時及び会場	内容
第 1 回	9 月 9 日 (水) 13:30~16:30	<b>■テーマ</b> 総論に対する共通理解、共感ポイントの共有 <b>■プログラム</b> ①公共施設に対する楽しい思いでの出し合い (楽しかった思い出を各自 1 枚の絵にする。) ②全国・牧之原市の現状、公共施設マネジメントの基本的な考え方を聞いて、感じたことを共有 (感想など何でもいいので出して共有)
	榛原文化センター 3 階大会議室	
現地視察	9 月 29 日 (火) 13:30~16:30	<b>■テーマ</b> 市内の主要な公共施設の現地確認 (賢く使う際のポイントになる施設) <b>■プログラム</b> 榛原庁舎、相良小学校、相良庁舎、史料館、川崎幼稚園を視察
	市内の公共施設を バスで移動	
第 2 回	10 月 8 日 (木) 14:30~17:30	<b>■テーマ</b> 分野別に対する共通理解・問題意識の共有 <b>■プログラム</b> ①第 1 回の共感ポイントの共有 (前回のまとめを聞いたうえで、感想等を共有) ②分野別のありたい姿 (分類別のありたい姿を共有) ③分野別の現状を聞き、ありたい姿のとのギャップ (市から現状の説明を聞いて、ギャップ等を共有)
	榛原総合病院 展望レストラン	
第 3 回	10 月 23 日 (金) 13:30~16:30	<b>■テーマ</b> 総論のまとめ、分野別の方向性を深める。 <b>■プログラム</b> ①マネジメントの総論(理念)のまとめ (総論のまとめに大切にしたい視点が入っているか) ②分野別のこれまでの意見を深める。 (分野別の大事にしたい視点を共有、投票)
	相良総合センター	
第 4 回	11 月 17 日 (火) 13:30~16:30	<b>■テーマ</b> 分野別の方向性をまとめる。横断的な利活用の検討 <b>■プログラム</b> ①分類別方向性の案を基に意見を磨き上げる。 (市から説明を聞いて、感想等を意見交換) ②楽しい利活用のアイデアを出す。 (課題に対して楽しい利活用のアイデアを共有)
	坂部区民センター ホール	

## 2 第5回目の具体的な進め方（案）

### (1) 概要

日時 平成27年12月17日（木）午後1時30分から4時30分

会場 史料館 2階ホール

### (2) ポイント

- ・現在の状況を参加者に正直かつ誠実に説明する。
- ・最終的な答申案に対話の場の意見が反映されることを参加者が実感できるような進め方とする。
- ・基本計画の策定に必要な意見を確認する。

### (3) プログラムの案

#### 第1部「まとめ案への意見を確認」

- ・これまでの意見を積み上げたまとめ案を示し、それに対する感想、疑問、意見アイデアなどを話し合う。
- ・この意見を加えることで対話の場としての理念、分類別の案をまとめる。
- ・資料は、大切にしたい視点案（別添資料4）、施設分類別の方向性案

#### 【施設分類別の方向性】

- ・行政、文化、学校、体育、子育て、コミュニティ、公園、保健福祉、観光産業の9分野の方向性を記載
- ・第4回に提示した方向性案のレベルで記載する。庁舎の方向性には配慮が必要⇒庁舎の方向性が整理されないと複合化先などを明確にはできないため、対話の場の中ではそこまでは整理しないこととする。  
自治基本条例推進会議の中で関連するデータや複合化する機能などを整理したうえで協議し、答申の中で明確にしたい。

#### 第2部「4年間で先導的に取り組むことを話し合う」

- ・第1部のまとめ案（20年の視点）を進めるために、当面の4年間で先導的に取り組むことを話し合う。
- ・資料は、先導的なプロジェクト案を示す。

#### 【先導的なプロジェクト】

- ・当面の4年間で具体的に進めるプロジェクト（賢く使うシンボルの取組）
- ・庁舎のどちらかと片浜小学校の複合的な利用を候補として検討中
- ・空き施設を利用したい機能（図書館、文化活動の拠点、文化財の保管と展示、公民館活動、コミュニティ活動 + 地区の再生などのまちづくり）の確保を上記の施設を利用して行いたい。

## これまで経緯と今後のスケジュール

(政策協働部地域創生課)

## 1 これまでの経緯

	日時	項目	協議事項等
5 月	7 日 (木)	第 1 回検討委員会	・ 公共施設最適化プロジェクトの進め方 ※基本方針案の修正、基本計画の策定
	13 日 (水)	第 1 回推進本部	
	18 日 (月)	第 1 回 自治基本条例推進会議	
6 月	1 日 (月)	第 2 回検討委員会	・ 専門部会の設置 ・ 基本計画の策定方針
	4 日 (木)	第 2 回 自治基本条例推進会議	
	15 日 (月)	第 3 回検討委員会	・ 基本計画の基本的考え方 ・ 対話の場の設置、専門部会の選定方法
	16 日 (火) 17 日 (水)	専門部会員の選定	・ 部会毎に支援を要請する職員を協議 ・ 専門部会員の選定
	19 日 (金)	市議会全員協議会	・ 公共施設マネジメントの進め方
	26 日 (金)	定例記者懇談会	・ 公共施設マネジメントの進め方
	30 日 (火)	第 2 回推進本部	・ 自治基本条例推進会議への諮問
7 月	1 日 (水)	合同研修会の開催	・ 本部、検討委員会、専門部会員が対象 ・ 必要性、進め方等の研修を受講
	7 日 (火)	第 3 回 自治基本条例推進会議	・ 対話の場の進め方、基本計画の構成 ・ 基本計画の諮問
	21 日 (火)	第 1 回専門部会	・ 専門部会の役割 ・ 対話の場の参加者案の検討
	22 日 (水)	庁内原案の作成	・ 各課で施設分類別の原案を作成 ※現状、課題、方向性等を整理
	23 日 (木) 24 日 (金)	区長・区長代理 視察研修	・ さいたま市の取組 ・ 与野本町小学校 (複合利用)
8 月	4 日 (火)	第 4 回 自治基本条例推進会議	・ 対話の場の進め方 ・ 対話の場に参加する団体の選出
	7 日 (金)	第 2 回専門部会	・ 対話の場の参加者を決定 ・ 施設分類別の方向性に係る協議
	7 日 (金)	基本計画業務委託	・ 三菱 UFJR&C と業務委託契約締結
	26 日 (水)	定例記者懇談会	・ 対話の場の開催
9 月	4 日 (金)	第 3 回推進本部	・ 3 つの推進本部の統合 ・ 対話の場の開催

	7日(月)	第3回専門部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の場の進め方</li> <li>・第1回プログラム、専門部会員の役割</li> </ul>
	9日(水)	自治会行政連絡会	・対話の場の開催
		第1回対話の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設に係る楽しい想いの出し合い</li> <li>・現状、基本的考え方に感じたこと</li> </ul>
	29日(火)	現地視察	・市内5ヶ所の施設を視察
10月	7日(水)	第5回自治基本条例推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回、現地視察の報告</li> <li>・第2回の進め方</li> </ul>
		第1回分類別の意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、子育て、体育施設</li> <li>※SHIENN学方式で関係職員が意見交換</li> </ul>
	8日(木)	第2回対話の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別のありたい姿</li> <li>・現状を聞いて感じたこと</li> </ul>
	9日(金)	第2回・第3回分類別の意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、文化施設</li> <li>・コミュニティ、公園施設</li> </ul>
	14日(水)	第4回分類別の意見交換会	・保健福祉、観光産業施設
	23日(金)	第3回対話の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大切にしたい視点のまとめ</li> <li>・分野別のありたい姿を深める</li> </ul>
11月	17日(火)	第4回対話の場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別の方向性を深める</li> <li>・賢く使うことのアイディアを出す</li> </ul>
	24日(火)	市議会全員協議会	・11月18日の新聞報道に係る説明
12月	2日(水)	第1回複合利用の意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断的、複合的な施設に利用</li> <li>※関係職員による意見交換</li> </ul>
	8日(火)	第6回自治基本条例推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対話の場の結果を共有</li> <li>・今後の進め方</li> </ul>
		地区長会	・対話の場に係る説明
	9日(水)	自治会行政連絡会	※11月18日の新聞報道に係る説明
	17日(木)	市議会全員協議会	・第5回目の進め方を説明
第5回対話の場		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の将来イメージ(案)</li> <li>・全体のまとめ(案)</li> </ul>	
1月	18日(月)	第7回自治基本条例推進会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の方向性</li> <li>・報告会の進め方</li> </ul>
2月	28日(日)	自治基本条例推進会議報告会	・協議状況を対話の場メンバーに説明

※12月以降は、予定を記載

※会議の名称中の公共施設マネジメントは省略して記載

## 2 今後の進め方の案

### (1) 進めるうえでのポイント

- ・対話の場までの協議の経緯を広く市民に理解してもらう。
- ・自治基本条例推進会議での協議の期間を十分確保する。  
⇒答申までの期間を2ヵ月延長する。
- ・答申後に基本計画を策定するまでの期間を十分確保する。  
⇒答申から基本計画策定に係る期間を4ヵ月確保する。(6ヶ月延長)
- ・相良庁舎の利活用などを考える対話の場を設ける。  
⇒答申の方向性に合わせて、基本計画と合わせて検討を進める。

### (2) スケジュール (案)

年度	月	当初案	理解を得る工程	方向性を決める工程	
H27d	12月	対話の場終了	市議会、自治会への説明	対話の場終了	
	1月	方向性協議	(班回覧の実施)	18日 推進会議の開催	
	2月	報告会	(広報紙への掲載)	上旬 推進会議の開催	
	3月		答申 基本計画策定	パブリックコメント 庁舎跡地の利活用の協議	
H28d	4月	個別計画策定 具体的な実施	視察	↓	
	5月	↓	↓		答申
	6月 ~8月		広報紙への掲載(答申) 市議会、自治会への説明		基本計画を協議 (議会などと調整)
	9月				基本計画を策定
	10月 ~3月				個別計画の策定 具体的な実施
H29d	4月				↓
H30d	—				
H31d	—			↓	

### (3) 公民連携・庁舎跡地の利活用の協議 (案)

- ・施設の機能が再配置されることは、新たな機能を発揮する機会になる。
- ・行政機能の統合後に空き施設となる庁舎を活用して、沿岸部の地区の再生を図る視点でその地区の賑わいづくりに取り組む。
- ・自治基本条例推進会議の答申後に、上記の事を含めて公共施設マネジメントについて検討する組織を設置したい。

## 公共施設マネジメント基本計画の骨子案

### 1 はじめに

### 2 目次

### 3 計画の目的

### 4 基本的な方針

- (1) 計画期間
- (2) 全市的な取組体制の構築
- (3) 現状や課題に関する基本的な考え方
- (4) 計画の P D C A 体制の構築

取組体制、課題などを  
記載する。

### 5 理念

#### (1) 基本理念（大切にする視点）

- ① 未来志向で考えよう、② 賢く使おう、③ 共感を大事にしよう、  
④ みんなでやろう、⑤ まちづくりを考えよう

#### (2) 基本指針

- ① 運営の最適化、② 質の最適化、③ 量の最適化

基本方針から抜粋

### 6 施設分類別の方向性

- (1) 庁舎 (2) 図書館 (3) 文化施設 (4) 学校施設
- (5) 体育施設 (6) 子育て支援施設（幼稚園、保育園、児童館等）
- (7) コミュニティ施設 (8) 防災施設（防災・消防・排水機場 等）
- (9) 公園施設 (10) 保健福祉施設（障がい者、高齢者福祉）
- (11) 観光産業施設 (12) 市営住宅

※施設の分類については、各課と協議し決定する。

※記載する様式等は裏面のとおりに

### 7 先導的な施設

- (1) 庁舎施設の活用プロジェクト
- (2) 片浜小学校施設の活用プロジェクト

### 8 資料

- ・ 策定に係る各種資料

## 施設分類別の方向性の様式と記載方法

<p>対象施設</p> <p>・ ①</p> <p>・</p>	<p>4年間の具体的な取組</p> <p>・ ④</p> <p>・</p> <p>・</p>
<p>大事にしたい視点</p> <p>・ ②</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>グラフィック・写真等</p> <p>⑤</p>
<p>方向性</p> <p>・ ③</p> <p>・</p> <p>・</p>	

※見開き2ページで1施設を記載する。

### ①対象施設

- ・ 公共施設白書から抜粋して記載する。(地域創生課対応)

### ②大事にしたい視点

- ・ 対話の場などの意見から抜粋して記載する。(地域創生課対応)
- ・ 対話の場のテーマになっていない分類については、基本は記入しない。

### ③方向性

- ・ 自治基本条例推進会議の答申を基に、本日の意見などを参考に内容を記載する。  
(地域創生課が担当課と協議して対応)

### ④4年間の具体的な取組

- ・ 方向性を基に4年間の具体的な実施計画を記載
- ・ 方向性が出ていないものは、方向性を決めることを含めて、記載する。  
(担当課が主体となって、地域創生課と協議して対応)

### ⑤グラフィック・写真等

- ・ 対話の場のグラフィックや関連する写真を掲載(地域創生課で対応)

- ・ 具体的な様式、スケジュール、記載方法は、各課宛において依頼する。
- ・ 担当課としては、③の方向性と④の4年間の具体的な取組の作成に関わる。  
※基本計画に沿って各課で個別計画を作成する。詳細は、別に説明する。



## 公共施設マネジメント基本計画

### 大切にする視点（基本理念）作成中

計画を進めるための基本理念を以下のとおり整理し、対話による共感を通じて、この大切にする視点を基に公共施設マネジメントを進めます。

#### 【視点1】 未来志向で考えよう！



##### 1 20年後の将来を見据えて、希望が持てる（ワクワクする）進め方をしよう

20年後の未来は、私たちが想像する以上に大きく変わっていると予測されます。既成概念にとらわれず、この変化に向けて、柔軟に発想や意識を転換します。

新しいことを積極的に取り入れ、デザイン性や使いやすさ、愛着をみんなで追求することで、魅力ある公共施設にします。

また、魅力ある将来の姿に向かうため、一時的な不便さにとらわれず、未来志向の価値観を大事にします。幸せは施設の数ではありません。

##### 2 子や孫世代のため、覚悟とスピード感を持って進めよう

このまちの将来を担う子や孫世代の明るい未来のためには、今を生きる私たちが真剣に取り組まないとはいけません。

次世代に借金やツケを残さないため、状況の変化に合わせて考え、行動する勇氣と覚悟をもってこの問題に臨みます。

この問題は、全国各地で起こっていることであり、時間が経つほど深刻化するため、スピード感を持って取り組みます。

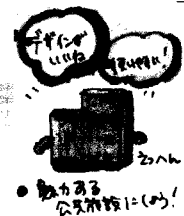
##### 3 優先度の高いことから積極的に取り組もう

未来志向で進める中でも、一歩ずつ着実に前に進むことが必要です。そのためには、全ての分野を画一的に進めるのではなく、大切にする視点を基に重点的かつ具体的に手を付けなければなりません。

安心して子どもを産み育てる環境、災害時の対応などの防災、地域のコミュニティなどを通じた世代を超えた交流などを大切にして取り組みます。

#### 【視点2】 賢く使おう！

##### 1 今あるものを活かそう



未来志向での考え方で進めるとともに、現実にある施設の新たな使い方や価値を発見することで、施設を賢く、有益に活用します。

原則として新たな施設はつくり今ある施設を活かします。残すことができる施設は残して、現在の状況に合った使い方に賢く転換します。

日々の手入れなどの工夫をするとともに、利用する人達の主体性を大切にする  
ことで施設への愛着を育み、大切に使うことで、できるだけ長持ちさせます。

## 2 新しい発想で有効活用しよう（工夫して質の高い使い方をしよう）

公共施設の機能をその特性に合わせて、効果的に集約、複合化など行い、施設の機能を再配置します。

また、それに伴う施設の空きスペースを活用して、新たな利用需要に応えることで、施設の総量が減っても、充実度が高まるような楽しい使い方を考えます

公共性を持つ民間施設などとの連携を深めるとともに、民間の方が施設の設置や運営に長けている分野の民営化を進めます。民間との連携や協力により、幅広く、質の高い公共サービスの提供に努めます。

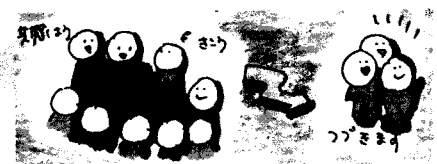
## 3 無理・無駄を省いて効率よく使おう

利用効率が悪い施設などの状況を分析し、無理や無駄を省く使い方を考えます。また、耐震などの安全性が不十分な施設は、早期に改修または廃止を検討します。

利用率の低い施設は、施設の面積当たりのコストが割高になるなど、公平性が損なわれる恐れがあるため、他の用途への転換や複合化を進めます。また、夜間や休日の利用など、稼働率を高めるニーズを検討し、使い方を見直します。

### **【視点3】 共感を大事にしよう！**

#### 1 状況や考え方を知ろう、知ってもらおう



みんなで公共施設の賢くて合理的な使い方を考えるためには、現状、設置の経緯及び目的などを共有することが必要です。施設の設置者は、知ってもらうための広報に努め、利用者もこれらの状況を知るように努めます。

また、施設の魅力や面白い使い方を発信することで市民の関心を高め、みんなに愛される利用率の高い施設を目指します。

#### 2 意識や考え方を共有する対話の場を設けよう

施設に係る方針やデータを整理し、この問題に対する基本的な考え方をみんな

で共有します。

また、公共施設には、多くの人の様々な想いが込められています。数は少なくてもその施設に大切な想いを持つ人の意見にも耳を傾けるとともに、みんなで認め合い、支え合う相互扶助感を持って進めます。

### 3 みんなの知識、やる気を引き出す進め方をしよう

みんなの想い、疑問、アイデアなどを共有する意見交換の場を設けることで、学び、気づき、共感し、この問題への納得感を高める進め方をします。

また、空き施設の活用などについては、行政、市民、その他の関係者の英知を結集してまちの賑わいを創出する視点で考えます。

この問題に関わる人達の知識、やる気が高まることで、その才能を広げ、市民力を進化させるような進め方をします。

## 【視点4】 みんなが主体的になろう！



### 1 自分事として考えよう

この問題は、一人一人の生活に関わる重要な問題であるからこそ、みんなが自分事として考えることが必要です。

誰かが解決してくれる、私が不便になると考えるのではなく、社会的な最適化に向け、小さなことでも自分自身がどのように取り組めるかを主体的に考えます。

### 2 自分達でできることは自分達でやろう

施設を実際に使用している人が、その施設の事を一番身近に考え、愛着と親しみを持っています。施設を管理する行政、使用する市民という関係に固執することなく、利用と負担を一緒に考え、みんなで維持管理する体制を実現します。

自分たちが関わることで、使いやすい、愛着ある施設に育てていくことに繋がります。要望を言うだけでなく、自分たちでできることから行動します。

### 3 市民力を発揮しよう

設置者と使用者が対立するのではなく、対話を通じて効果的に連携し、役割分担して魅力ある施設づくりを目指します。

また、地区などの自治会を中心とした生活密着型の組織を核に、その活用方法を主体的に考えるとともに、多様な能力や価値観を持った人が市の内外から集まり、その能力を最大限発揮することで、公共施設を活用した魅力あるまちづくりを進めます。

## 【視点5】 まちづくりを考えよう！



### 1 牧之原市にあったまちの姿を目指そう

牧之原市は、温暖な気候、豊かな自然、多様な交通インフラの整備などにより、自然と調和した人やものの交流拠点として期待が高まっています。

牧之原市の長を活かした魅力あるまちをつくるために、独自性のある公共施設の活用方法を考えることが重要です。

このまちに生まれ、育ち、暮らしている人達が更に住みやすく、このまちを訪れる人達が魅力を感じるまちづくりの視点で公共施設の問題を考えます。

### 2 みんなでまちのデザインを共有しよう

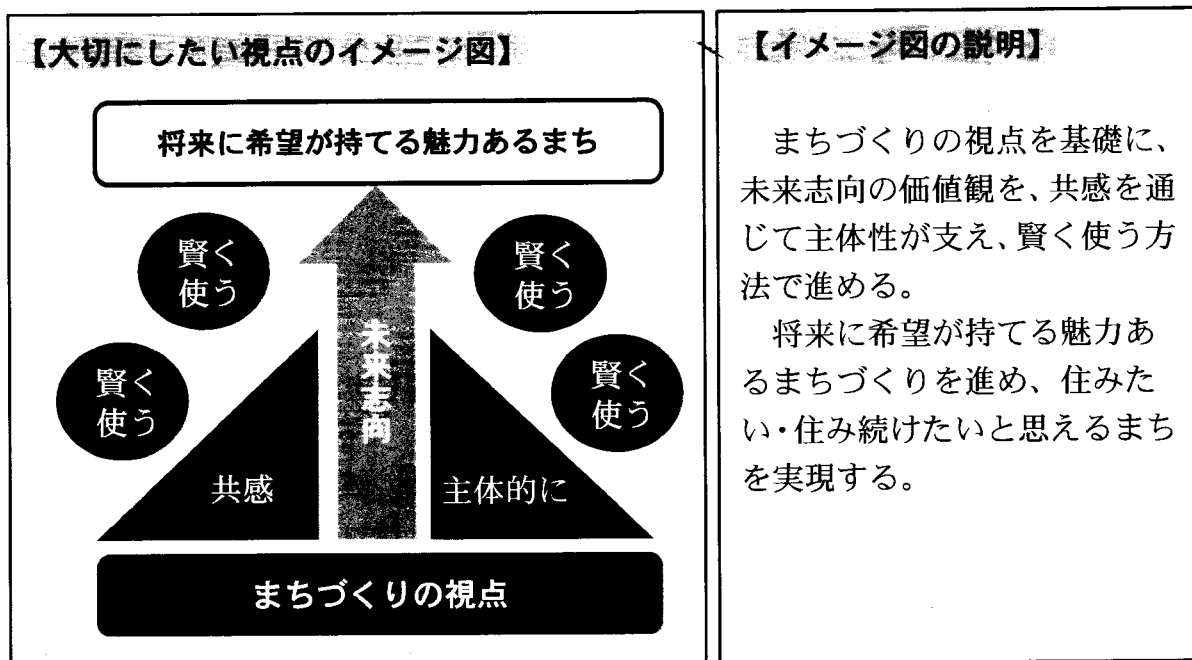
まちの将来のデザインをみんなで共有することは、このまちへの親しみや誇りを高める事にも繋がります。

総合計画などの方向性と整合を図りながらも、まち全体や地区単位などの将来のデザインを対話によって共有し、その実現に向けて公共施設を活用します。

### 3 まちへのみんなの想いを大切にしよう

みんながこのまちに持っている想いや愛を大切にすることで、自分たちの取組がまちの将来に繋がっている実感を生むことが、周りの市町からも「おっ」と思われる取り組みに繋がります。

計画の実行性を高めるため、まちへのみんなの想いや愛を大切にした公共施設マネジメントを進めます。



対話の場でも出た大事にする視点に係る意見（第 1 回から第 3 回の意見）

	第 1 回	第 2 回	第 3 回
未来志向で考えよう			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクワク感、センスのよい、おしゃれな</li> <li>・40 年後を見据えて、次代の変化とともに考え方を変える。</li> <li>・デザイン性を追求する。</li> <li>・幸福度は施設の数ではない。</li> <li>・発想、意識の転換</li> <li>・既成概念にとらわれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度成長期の常識と 21 世紀の常識の比較</li> <li>・計画を 5、10、20 と中長期としての進め方</li> <li>・魅力あるものを創出すること（かっこいいもの・・・）</li> <li>・デザイン性はやっぱり大事かな（お金かかる？）</li> <li>・幸福観て何ですか？（施設にどれくらい左右されるもの？）</li> <li>・長期的な視点 誰の為に施設か良く考える</li> <li>・ワクワク感！後ろ向きではない視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり大切、デザイン性と愛着</li> <li>・色々な課題に目を向けるというきっかけを大切に</li> <li>・新しいものは積極的に入れる</li> <li>・今後の不便は将来のための便利の為に</li> <li>・他市町の人がきたくなる、魅力をもった施設</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピード感、今やらないと手遅れになる。</li> <li>・次の世代に借金、ツケを残さない。</li> <li>・子ども達の明るい未来のため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政は何でもそう！スピード感！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況が変化した時にやり直す、考える勇氣と決断</li> <li>・未来志向→実行するには市民全体の覚悟・理解が必要</li> <li>・子ども、子育て中心（未来志向）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位</li> <li>・プライオリティへの配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位→一点集中型でも</li> <li>・安全な場所にあった方がいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・子育てにどのぐらい重点を置くのか考える</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育ての視点 子どもを産んで育てたくなるまち お母さんが集まる場所、子どもも通える。</li> <li>・防災の視点</li> <li>・コミュニティの視点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつまでもにどんな順番で見直すのか</li> <li>・子育てだけでいいの？ 子育ての先輩からアドバイザーももらえるような・世間の交流</li> <li>・年配者と子供の交流になるような場、施設が欲しい</li> <li>・親子で集まる</li> <li>→さらにプラスした集まりに広げる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育、子育て、スポーツなど、未来のイメージを考えて、施設を検討する</li> <li>・災害時の有効性</li> </ul>
<b>賢く使おう</b>			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄な施設はつくらない。</li> <li>・現状に合った使い方</li> <li>・長く使う、大切に使う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・壊すにも金かかる。</li> <li>・賢くコンバージョン</li> <li>・施設を大切に使う</li> <li>・施設への愛着を形成する工夫を</li> <li>・大事に使うこと。使い方。掃除を通じての教育啓発→意識</li> <li>・賢く使う日々の手入れやそうじなどで建物への愛着→大切に使うことにつながる</li> <li>・賢く使おう（厳しい財政、施設の新しい用途や価値の発見）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のつながり 自治性、主体性を大切にしたい施設、つかわれ方</li> <li>・残すものは残そう</li> <li>・有益性のある運営</li> <li>・庁舎がどこにあれば市民が使いやすいか</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を長生きさせる。</li> <li>・質の高い利用</li> <li>・数を減らす、稼働率アップに</li> <li>・使用していない場所、施設を利用</li> <li>・不要な施設と不足している施設の使い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者多数 OK！利用者少数 NG できない</li> <li>・賢く利用率、稼働率に対する見通し</li> <li>・民間の方も含めて(他市と比べて・)</li> <li>・量は減らす。でも質は上げる。FM 進め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賢く使うのは施設だけではなく人も</li> <li>・「賢く」使うはよい視点→かしこいつてイメージ、ことばを共有して・</li> <li>・空きスペースの有効活用</li> <li>・市民の人が利用しやすい施設</li> </ul>

		<p>る→残念より充実度 UP に！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで出来なかった理由？→進む方法行政が出来なかつたなら出来るところへ渡す</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理、無駄を省く</li> <li>・低コストで</li> <li>・利用の無い施設は閉める。</li> <li>・平日、休日の有効な活用</li> <li>・他の地区と共同で使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来なら庁舎や文化施設は1カ所になるといい</li> <li>・現状～今後、耐震面などで使用可能な施設なのか？</li> <li>・リサーチ・分析が必要</li> <li>・メンテナンス→コスト</li> <li>・要望、ニーズが根本・本質</li> </ul> <p>→利用される施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来を見る前に現実をみる (未来だけじゃダメ)</li> <li>・まず現実をもう少し見たい！！</li> <li>・納税のあり方改革と公共施設利用の連動</li> </ul>
<b>共感を大事にしよう</b>			
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR、面白い使い方、魅力ある施設</li> <li>・適切な判断</li> <li>・本当に無理、無駄なのか</li> <li>・ビジョンの提示と情報提供が前提</li> <li>・合併の経緯がある。</li> <li>・情報を発信して関心を持ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を知らない</li> <li>・現状を知らないと今後の活用方法につながらない</li> <li>・各々の公共施設の目的は？目的が被っていることもあるかも？</li> <li>・我慢ばかりではなく、うれしいことを発信 メリット</li> <li>・施設の利用者数は出ているが、どんな人が使っているか？知ることであらたな側面が見えてくるかも</li> <li>・市の現状の周知をする必要がある</li> <li>・利用の為のキヨリ、利用できる回数</li> </ul> <p>→我慢も必要 情報発信大切</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方向性を示す。</li> <li>・どんな施設がどのような状況にあるか具体的に知る→方向性</li> <li>・公共施設を減らしたら反感はある。データを伝える準備を！</li> <li>・「お金」のアドバイザーにきてほしい</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を使って「何」をやりたいのか？</li> <li>「何」に使いたいのか</li> <li>・情報発信 自分たちで工夫 がまん</li> <li>・庁舎の統合は長い年月で市民対話で進める。</li> <li>・歩みよりの相互扶助感</li> <li>・1人でも使っていればムダではない。→ムダでは？(1人の使用のためにかかる税金を考えると、かえって不公平)→民間なら閉店・倒産</li> <li>・市民の声をよく聞く</li> <li>・市民感情を大切にす</li> <li>・情報の共有→新しい使い方などが生まれてくるのでは！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民を説得する方法論をしっかりと</li> <li>・意見の共有 (課題)</li> <li>・市民感情は大切だけど、100%賛同は無理。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の声を良く聴く、たくさん聞く</li> <li>・地域の繋がりを大切に</li> <li>・現状に満足していない人もいる。</li> <li>・1人でも使っていれば無駄ではない。</li> <li>・利用者が少なくても一方的になくすわけにいかない。担保が必要</li> <li>・意見交換できる場を</li> <li>・我慢するためには情報、理解が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの建物には長い歴史があり夢があります。地域の人々の思い出を大切にしてい残すものは残していく</li> <li>・あるモノがなくなった時の対応策</li> <li>・市民のみなさんの才能が広がって進化していくような人事をしてみる！草の根的に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納得させる伝え方？</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公平な基準を</li> <li>・充足感を満たしつつ削減する。</li> <li>・合理化と市民の納得</li> </ul>			
<p>1</p>				
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的な不効率</li> <li>・自分や家族、所属する組織の利害でなく、市民全体の利益を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多少の不具合や不便さを感じても</li> </ul>	



2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できることをやる。</li> <li>・要望を言うだけでなく、自分たちにできる事を考えたい。</li> <li>・施設に親しみを持てる工夫</li> <li>・多くの人が関わることで愛着を</li> <li>・利用者が維持管理していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る限り、利用者(地域・コミュニティ)で維持管理・修理</li> <li>・学校の中へ市民がたずねて行く、かかわっていく。そうじ・草取りなど</li> <li>・自分たちで・利用団体でも話し合いに参加 (施設毎)</li> <li>・「自分の健康は自分で守る」視点で。施設利用する人は有料 (金額は市民で考える)</li> <li>・建物の簡単な修繕などは行政へお願いするだけでなく自分達でできることはある。(すぐにできる。低コストでできる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想を生かす→維持・管理(単なる利用者で終わらない)</li> <li>・使用者が管理にかかわる</li> <li>・マイノリティの立場に配慮</li> <li>・マイノリティの声が届くように・・・。(声の大小ではなく)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民力を活かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動機に対する共感、理解</li> <li>・少数者(外国人、市外、県外からの転入者)の立場、視点に配慮した計画を打ち出す姿勢</li> <li>・人生の知恵の共有</li> <li>・「市民力」を生かす 窓口</li> <li>・楽しく利用する</li> <li>・対話する相手の(専門的な)知識や理解を引き出すような話し合いを心がける</li> </ul>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域創生との連動</li> <li>・お金を稼ぐことも考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思い・歴史・工夫</li> <li>・施設が海に近いものが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牧之原市っていいなあと思えるまちづくり</li> </ul>

	<p>・少子化を止める施設の使い方</p>	<p>・相良⇔榛原 メインはR150だけ          ・施設分類ごと考えるのではなく、全体をとらえる          ・人口を増やす。年間を通して気候が良          いを売りにする</p>	<p>・牧之原市で歴史のあるもの、海・山          ・人口流出すると、施設を作っても利用          者がいない。          ・住みたくなる、長年にわたり定住でき          るような町          ・住みやすくしたい？人を呼んで稼ぐ姿          に？どういう姿にしたいか決める          ・榛原と相互にそれぞれ愛着がある。</p>
2		<p>・市の構想 高台開発 住宅          ・大切なポイント・街のデザインを想          いつつ、1つ1つに手をつけること</p>	<p>・他市にない施設を！          ・まち全体のデザインが大切。市の中心、          バランス、交通          ・まちづくりに借景を！！自然(周囲の)          デザインに取り入れる          ・未来志向で→方向性・ビジョンを示す          (どういう街にするか) 中期的・長期的          に使えるように          ・みんなで共有できる「まちのデザイン」          ふくらめてかえらねるといいで          すね</p>
3		<p>・まず1つやってみる。          ちよつと目立つこと！？どんな？！          ・まわりの市町村から見ても、お？！と          思うような使い方をしたいから民営          +市営でるんるんしたい。</p>	<p>・愛でひとりひとり大切に作る市          ・外から見てどうか？(全体像を適切に          捉える)</p>